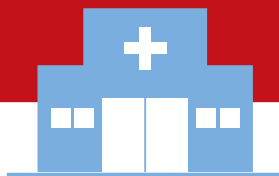


動物病院で肝数値の高値が認められた 犬猫へのアプローチ

動物用医薬品
へパヒカ注

病院で行う処置



動物用医薬品

へパヒカ注

肝機能改善剤

推奨投与量

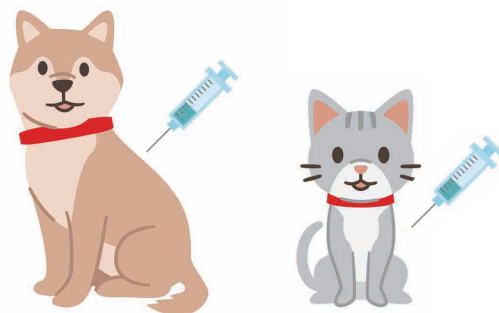
0.2mL/kg 1日1回 皮下投与

【臨床試験データ】

ASTおよびALTの高値が認められた犬を対象に、本剤を0.2mL/kg 1日1回3日間連続で皮下投与したところ、治療効果が確認された(2~3日目におけるAST改善率63%及びALT改善率67%)。

試験群	対照 n=23	へパヒカ注 n=46
AST改善率 2~3日目	35%	63%
ALT改善率 2~3日目	35%	67%

The 164th meeting-JSVS



へパヒカ注の犬猫における安全性

1. 犬皮下投与安全性試験

- 動物種、系統/犬、ビーグル
- 投与経路、期間/皮下、7日間



投与量(mL/kg/day) 0.4(最高用量) 2.0(5倍量)

最高用量の5倍量まで、7日間連続投与により、**安全性が確認**されました。

2. 犬静脈投与安全性試験

- 動物種、系統/犬、ビーグル
- 投与経路、期間/静脈、7日間



投与量(mL/kg/day) 1.2(最高用量の3倍量)

最高用量の3倍量まで、7日間連続投与により、**安全性が確認**されました。

3. 猫皮下投与安全性試験

- 動物種、系統/猫、雑種
- 投与経路、期間/皮下、7日間



投与量(mL/kg/day) 0.4(最高用量) 2.0(5倍量)

最高用量の5倍量まで、7日間連続投与により、**安全性が確認**されました。

4. 猫静脈投与安全性試験

- 動物種、系統/猫、雑種
- 投与経路、期間/静脈、7日間



投与量(mL/kg/day) 1.2(最高用量の3倍量)

最高用量の3倍量まで、7日間連続投与により、**安全性が確認**されました。

(獣医医療開発(株)社内資料より)

肝機能を 皮下注射で改善できる

動物用医薬品
へパヒカ注

動物用医薬品

へパヒカ注

肝機能改善剤

【成分及び分量】

本品100mL中

有効成分	含量
チオクト酸	0.1g
パントテン酸ナトリウム	1.0g

【効能又は効果】

栄養の補給、中毒時の補助療法。

【用法及び用量】

犬、猫体重1kg当たり0.05~0.2mLを1日1~2回静脈内、皮下又は筋肉内に注射する。

【推奨投与量】

本品として0.2mL/kg

犬、猫の体重	推奨投与量
1kg	0.2mL
2kg	0.4mL
3kg	0.6mL
4kg	0.8mL
5kg	1.0mL
10kg	2.0mL
15kg	3.0mL
20kg	4.0mL
25kg	5.0mL
30kg	6.0mL

【使用上の注意】

(基本的事項)

1. 守らなければならないこと

(一般的注意)

- ・本剤は効能・効果において定められた目的にのみ使用すること。
- ・本剤は定められた用法・用量を厳守すること。
- ・本剤は獣医師の指導の下で使用すること。

(取扱い及び廃棄のための注意)

- ・本剤は小児の手の届かないところに保管すること。
- ・本剤は直射日光、高温及び凍結を避けて保管すること。
- ・注射器具は滅菌又は煮沸消毒されたものを使用すること。薬剤により消毒をした器具又は他の薬剤に使用した器具は使用しないこと(ガス滅菌によるものを除く)。なお、乾熱、高圧蒸気滅菌又は煮沸消毒等を行った場合は、室温まで冷えたものを使用すること。
- ・使用済みの容器は、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・本剤を廃棄する際は、環境や水系を汚染しないように注意し、地方公共団体条例等に従い処分すること。
- ・使用済みの注射針は、針回収用の専用容器に入れること。針回収用の容器の廃棄は、産業廃棄物収集運搬業及び産業廃棄物処分業の許可を有した業者に委託すること。

2. 使用に際して気をつけること

(使用者に対する注意)

- ・誤って注射された者は、直ちに医師の診察を受けること。

(対象動物に関する注意)

- ・副作用が認められた場合には、速やかに獣医師の診察を受けること。

【薬理学的情報等】

(薬効薬理)

有効成分	作用機序
チオクト酸	チオクト酸はエネルギー生産(解糖系)において、TCA回路で利用されるアセチルCoAの生成を促進する。また、TCA回路内で補酵素としても働くため、ATP生成に必要な成分である。さらに、強力な抗酸化作用が確認されており、肝臓の代謝を改善し、解毒作用に効果を発揮する。
パントテン酸ナトリウム	パントテン酸は体内でCoenzyme A (CoA) からアセチルCoAとなり、TCA回路におけるオキサロ酢酸のアセチル化、神経刺激伝達に不可欠であるアセチルコリンの生成、その他酢酸、芳香族アミン、グルコサミン、アミノ酸等体内重要物質のアセチル化に関与している。また、パントテン酸による肝疾患治療効果が報告されている※。

※)医療 Vol.16, No.12, 59~66, 1962.

(臨床試験)

ASTおよびALTの高値が認められた犬を対象に、本剤を0.2mL/kg1日1回3日間連続で皮下投与したところ、治療効果が確認された(2~3日目におけるAST改善率63%及びALT改善率67%)。

試験群	対照 n=23	へパヒカ注 n=46
AST改善率 2~3日目	35%	63%
ALT改善率 2~3日目	35%	67%

The 164th meeting-JSVS

【包装】

22mL

【製品情報お問い合わせ先】


日本全薬工業株式会社
〒963-0196
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1
フリーダイヤル 0120-452-793
受付時間 9:00-17:00 (土日祝日・弊社休業日を除く)




販売元

 日本全薬工業株式会社
福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

製造販売業者

 リケンベッツファーマ株式会社
埼玉県川口市元郷 4-1-8

開発元

 Veterinarian Medical Development CO.LTD
獣医医療開発株式会社
埼玉県さいたま市大宮区吉敷町1-133-1